

麻生リハビリ総合病院だより



<https://www.souseikai.net/rehabilitation>

神奈川県内で初！ ウェルウォークの最新機種（WW-2000）を導入しています。



上部カメラの映像

東海道五十三次のゲーム機能を使用中

ウェルウォークは脳卒中などによる片麻痺の患者様を想定して作られたリハビリ支援ロボットです。

麻痺側の脚にロボット装具を装着し、膝を中心とした下肢の運動を補助することで歩行訓練を実施でき、運動学習理論に基づいて“体が覚える”をロボットがサポートします。

患者様に合わせた適切なアシスト量を調整できるので、短時間で効率的な歩行訓練を行うことができます。



2021年3月、リハビリテーション支援ロボット「ウェルウォーク WW-2000」を導入しました。以前の導入機種「ウェルウォーク WW-1000」の特徴であった運動学習理論に基づいた様々なリハビリテーション支援機能が更に向上しています。

例えば、歩行姿勢をリアルタイムで分析し、問題点をモニターに表示する機能が加わり、歩行状態の確認、改善を容易に行うことができ、より質の高いリハビリテーションの提供が可能になっています。

また、モチベーションを維持するゲーム機能が追加され、楽しみながら訓練を実施できるようになっています。

前、横、上の3方向から録画されており、前面の大画面では歩行姿勢を確認することができます。

ただし!! 最新の優れた機械が導入されているだけでは、効果的なリハビリテーションを提供できるわけではありません。

ウェルウォークでは、徐々にアシスト量を減らしていき、ロボットの支援なしでの歩行獲得を目指します。一人一人の患者様に最適なアシスト量を調整するには、セラピストの経験や知識が重要です。患者様の回復能力を引き出すサポート役として、セラピストのたゆまぬ努力があってこそ、最新のリハビリテーション機器が活かされています。

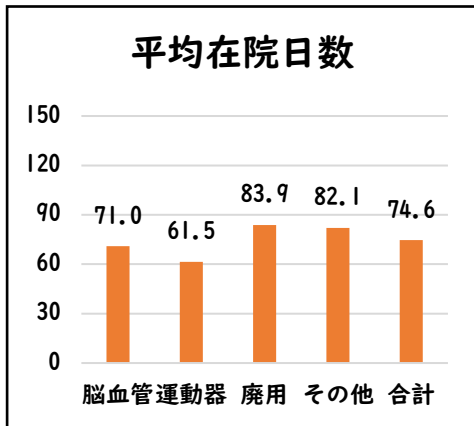
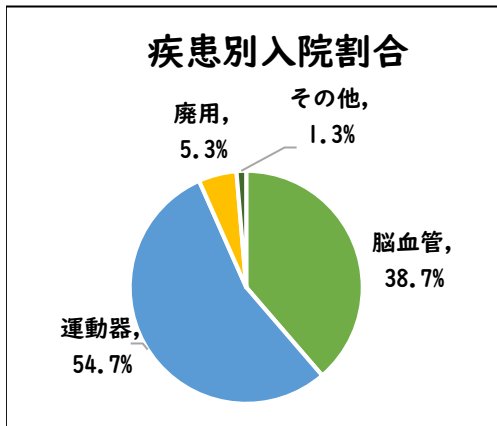
【ウェルウォークのリハビリを実施された患者様の感想】

「車イスのままウェルウォークに移動できるので安心。」「疲れるし、難しいけど、リハビリの効果が実感できた。」「はじめは怖くて一歩が出るのに時間がかかった。」「過去の歩行動画を観て現在と比較できるので、前回よりもよくなっていることが実感でき、頑張ることができた。」 ※ウェルウォークのリハビリ適用については医師・セラピストが判断し、実施いたします。

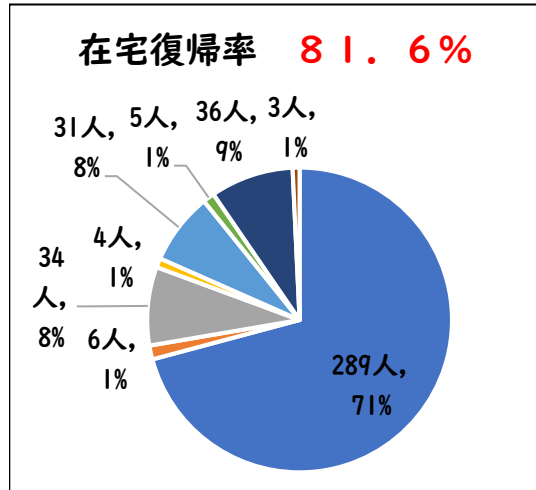
速報！ 診療実績(2021年1月～6月)

上半期(2021年1月～6月)の診療実績報告です。

回復期リハビリテーション病棟入院料Ⅰの実績要件		診療実績
リハビリテーション実績指数	40以上	50.12
自宅等に退院する割合	7割以上	81.6%
重症者の割合	3割以上	48.2%
退院時の日常生活機能評価4点(FIM16点)以上改善	3割以上	74.0%



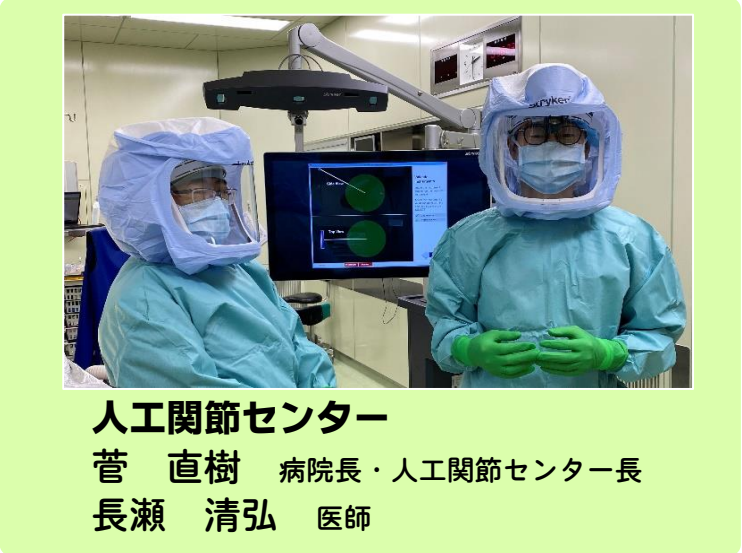
「回復期リハビリテーション病棟入院料Ⅰ」では、実績指数40以上が要件となっていますが、大幅に上回る実績指数をキープしています。また、入院患者数に占める重症者割合については非常に高くなっており、48.2%もの重症者を受け入れた結果となっています。その状況下でも退院時の日常生活機能評価4点(FIM16点)以上の改善ができた患者割合は74%、在宅復帰率は81.6%と非常に高い治療実績を上げることができています。



在宅復帰率 (退院先内訳)		
退院先	2021年1月～6月 人数	割合
在宅	289人	70.8%
特別養護老人ホーム	6人	1.5%
有料老人ホーム	34人	8.3%
グループホーム	4人	1.0%
高齢者専用賃貸住宅	4人	1.0%
急性期病院	31人	7.6%
慢性期病院	5人	1.2%
介護老人保健施設	36人	8.8%
その他	3人	0.7%
合計	408人	100.0%

Pick up! **人工関節センター**

当院外来では「人工関節センター」を設けており、毎週木曜日を手術日とし、人工股関節、人工膝関節の置換術を行っております。



手術は隣接の「麻生総合病院」内の手術室(ハイクリーンルーム)にて行います。手術翌日から起立訓練、車いすへの移乗動作訓練、可能であれば歩行訓練などを行います。リハビリ専門である当院「麻生リハビリ総合病院」へ転院後は、さらに1日に多くの時間のリハビリを受けることができます。

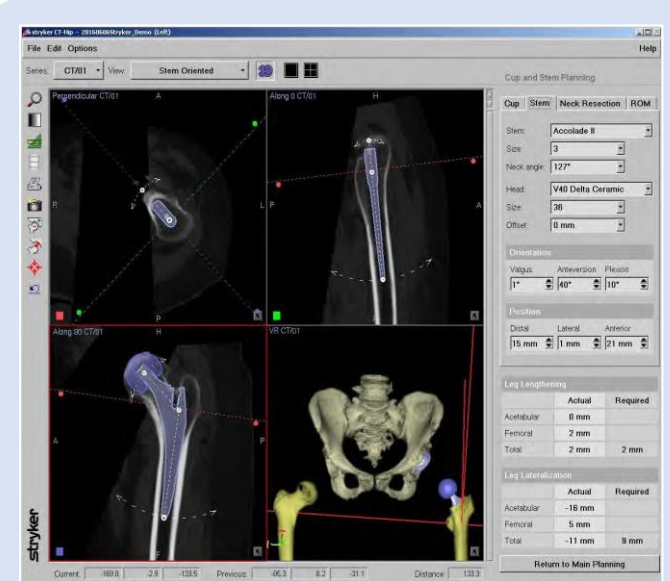
当院転院後は医師、リハビリスタッフ(理学療法士・作業療法士)、看護師、管理栄養士、薬剤師、医療ソーシャルワーカーがチームとして介入し、患者様一人ひとりにオーダーメイドの治療、リハビリテーション、ケア、退院支援などを行っていきます。退院前には階段歩行や屋外歩行の練習を行います。また自宅でも行えるようなトレーニングやマッサージなどの指導も行っております。

手術は安全、確実にを行うためにナビゲーションシステムを導入しています。3次元画像による信頼性の高い術前計画(設置位置、インプラントサイズ、脚長差補正など)が可能となります。



Stryker NAV3i

手術ナビゲーションシステムでは、骨に赤外線マーカーを取り付け、ここから出される赤外線術前に撮影したCTの3次元構造を捉えることにより、骨に地図を描くことが可能になります。



人工股関節ナビゲーションシステム



人工膝関節ナビゲーションシステム

右人工膝関節全置換術後19日目の患者様。

マッサージ、関節可動域訓練、階段歩行訓練等を実施。退院に向けて意欲的に取り組んでいらっしゃいました。



手術前と比較し、楽に歩けるようになり姿勢も良くなる方が多く見られます。退院後の患者様からは、「痛みなく階段歩行ができるようになった」「痛くて座って靴を履くことができなかつたのができるようになった」「脚の長さが左右同じになって嬉しい」など、温かいお言葉をたくさん頂いております。

入院のご相談は・・・
地域医療支援課
 044-981-6835(直通)
 044-987-2203(直通)
 月曜～土曜日(日曜・祝日を除く)
 受付時間 9:00-17:00
 お気軽に
 お問い合わせください。



院内でのひととき

病院食では季節を取り入れた行事食の提供を行っています。梅雨を彩る紫陽花や縁日気分を盛り上げる屋台風メニュー等、お食事を楽しんでいただけるよう取り組んでおります。



♪紫陽花ゼリー♪



♪季節を感じさせる献立♪

2-2病棟の飾りつけ



3-2病棟の飾りつけ



7月には七夕の飾りつけをしました☆各病棟ごとに笹を設置し、患者様に記入していただいた短冊を飾りつけしました。(感染症防止の観点から、笹はプラスチック製のものを使用しております。)

短冊には、「早く家に帰れるように」「みんなと会ってお話できますように」等、切実な思いが書かれていました。

3-1病棟の患者様。飾りつけを楽しまれていました



3-1病棟の七夕アート



2-1病棟の壁に飾られた天の川

